



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

こきょう さいご わか よし だしょういん く 故郷との最後の別れ～吉田松陰の句～

でまえじゅぎょう おとず いわくにしりつ お ぜしやうがっこう お ぜ よしだしょういん よ く ひ
出前授業で訪れた岩国市立小瀬小学校のある小瀬に、吉田松陰が詠んだ句碑があります。

ゆめじ せき う こ いま わた お ぜ が わ
「夢路にも かへらぬ関を 打ち越えて 今をかぎりと 渡る小瀬川」

しょうかそんじゅく じゅくせい そだ おお ひと した よしだしょういん にほん
松下村塾でたくさんの塾生を育て、多くの人から慕われていた吉田松陰は、日本のことを
おも ぼくふ ひはん たいど はぎ えど よび だ され ました。江戸へ向かう
とちゅう さいご ぼうちやう ち お ぜ
途中、最後の防長の地が小瀬です。

に ど もど こきょう き も よしだしょういん お ぜ が わ わた
二度と戻ることはできない故郷。どんな気持ちで吉田松陰は小瀬川を渡ったのでしょうか。
く よ はぎ はな ねん がつ にち げつご がつ にち よしだしょういん
この句を詠み、萩を離れたのは1859年5月25日。その5か月後の10月27日に、吉田松陰は
えど しよけい ねん しょうがい と
江戸で処刑され、わずか30年の生涯を閉じたのです。

参考文献『維新の先覚 吉田松陰』瞬報社写真印刷(株) 山口県教育会



岩国市小瀬町

とても大きな石碑だよ！

やまぐちけんない よし だしょういん あしあと
山口県内のいろんなところに吉田松陰の足跡が…



やまぐちくはくぶつかん
山口博物館
のウェブサイト
の二次元
コードです。



しょういん う そだ じだい にほん のうみん はんらん お こしたり くるふね きんかい あらわ
松陰が生まれ育った時代の日本は、農民が反乱を起こしたり、黒船が近海に現れ
たりと、世の中にさまざまな異変が起きていました。松陰は各地の情報を得るため
に、自分の足で九州から東北まで旅に出かけます。歩いた距離は約13,000キロメー
トル！自分の目で確かめたい、という松陰の思いがよくわかりますね。山口県内にも
しょういん あし はこ あと のこ す まち
松陰が足を運んだ跡が残されています。みんなの住んでいる町にもあるかも！？

やまぐちけんりつやまぐちくはくぶつかん よし だしょういん ひと
山口県立山口博物館では、吉田松陰にまつわるものや人につ
いても展示しています。山口県を代表する偉人、吉田松陰につい
てもっとくわしく調べてみよう！

